

伊豆長岡温泉キャンパス

～まるごとごちゃまぜネットワーク～

長期休暇を中心に大勢でやって来ている大学生をターゲットとし、伊豆長岡温泉での研修、合宿などの活動を推進する提案をする。また、都市部のワーカーやバックパッカー等の個人客への環境整備も行うことで、新規ニーズを開拓し、大学生の閑散期にも利用客の確保を狙う。

また、多くの使われなくなった旅館をポテンシャルと捉え、改修して活用すると共に、歩行者天国やモビリティの提案を交えて、温泉街を丸ごと使いなおすネットワークを提案する。

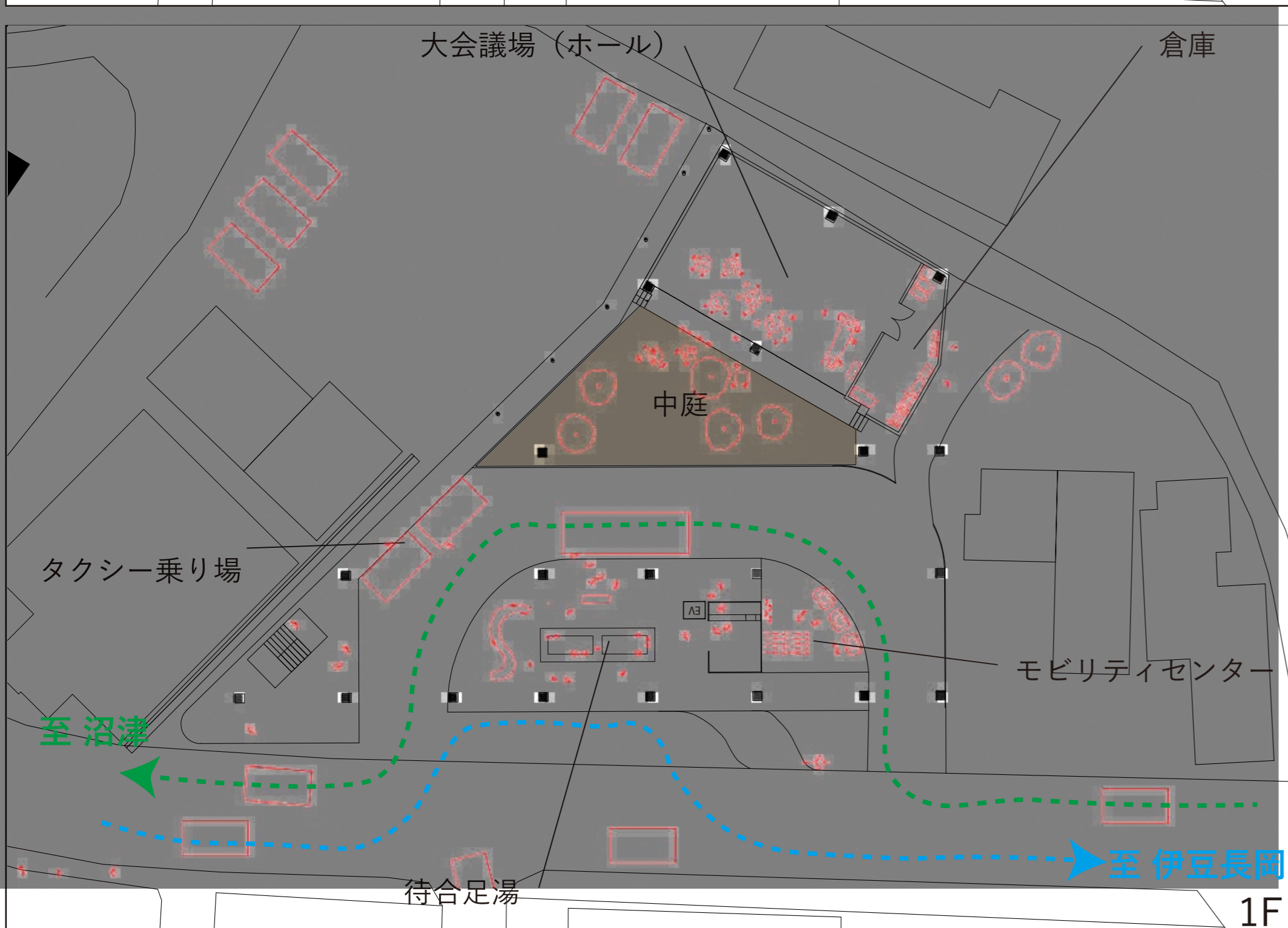
温泉駅はこれらの提案の拠点となる。

「伊豆の国市シャレットワークショップ2019
～温泉駅とその周辺地区のまちづくりデザインを考える～」
横浜国立大学 都市計画研究室
都市イノベーション学府 博士課程前期 1年 木村 夏輝
遠山 匠
理工学部 4年 奥野 慎
塩濱 宏己

PLAN 1/300

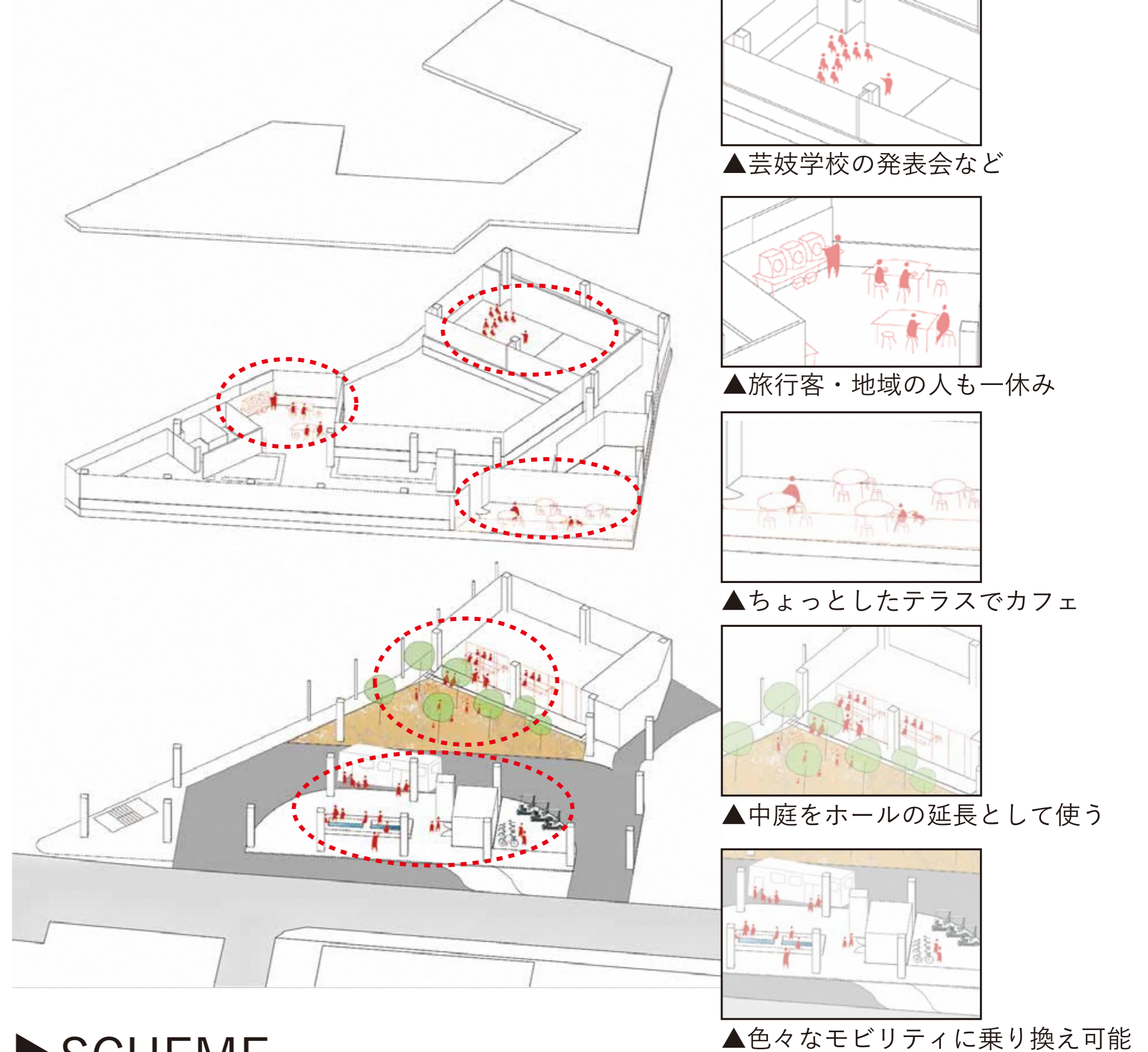


2F



1F

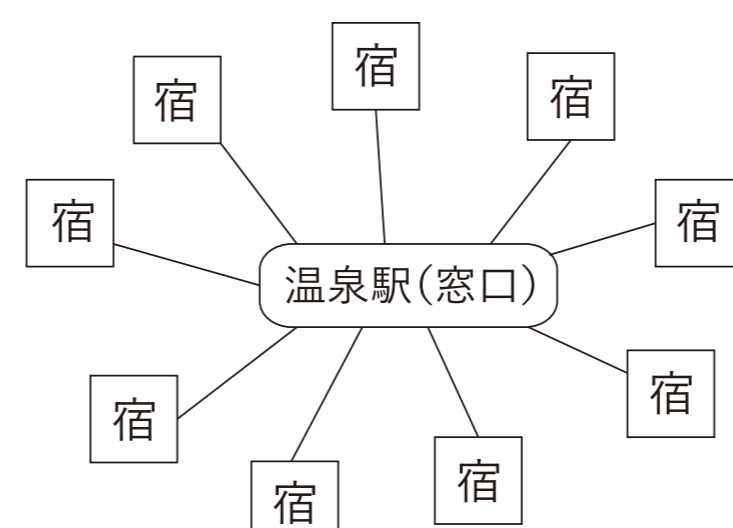
AXONOMETRIC



SCHEME

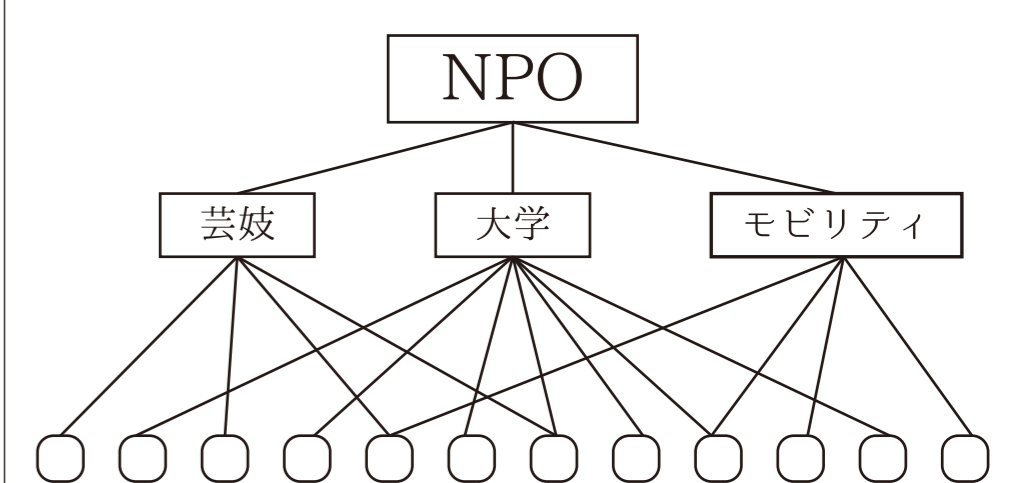
ホステルヴィレッジ方式

受付と窓口をセンターに設けて、宿泊・利用をそれぞれに分配する方式



温泉駅で宿泊の受付、鍵の受け渡しなどを行い、周辺に点在する目的の棟へ向かう。

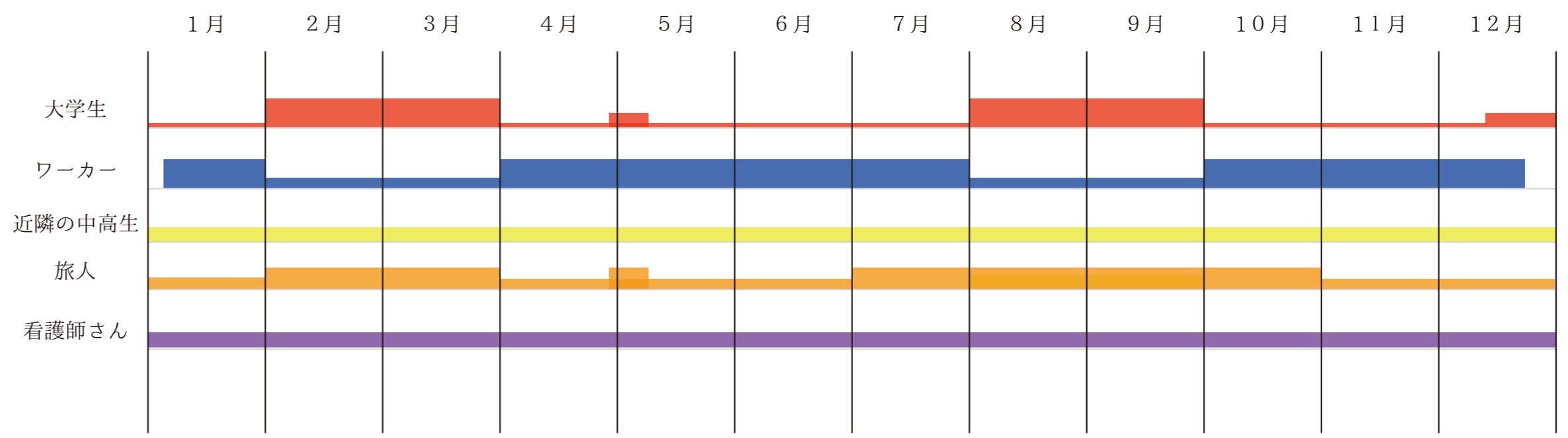
シェアマネジメントシステム



NPOなどの組織によって複数のオーナーが所有する不動産を総合的に運営・管理する。

▶ SCHEDULE

メインターゲットとする大学生が来る時期は、長期休みのある2~3月や8~9月に限られる。そのため、補完的ターゲットとして、県内や都市部のワーカー、更には会社自体を誘致する。そのほか、地元の学校、病院の需要や、観光需要も合わせて、ターゲットを入れ替えながら、年中利用されることを目指す。



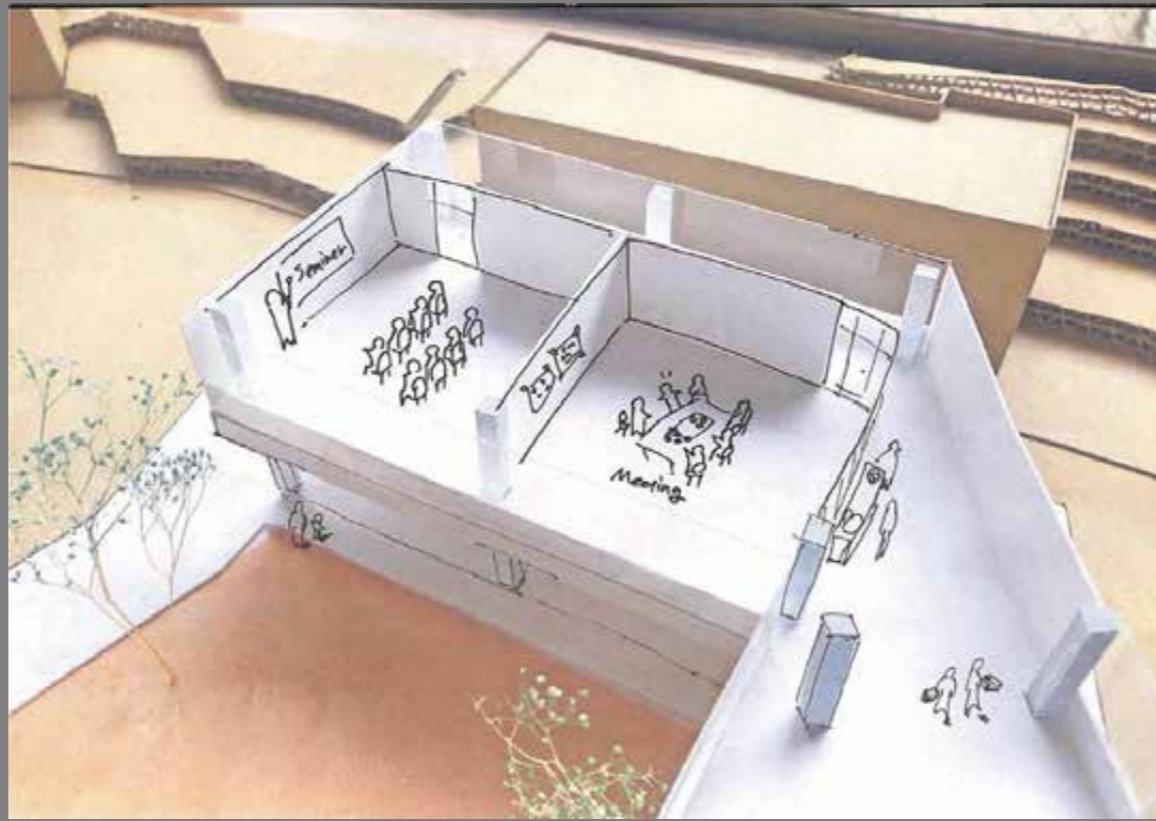
▶ CAMPUS MAP

コワーキングスペース



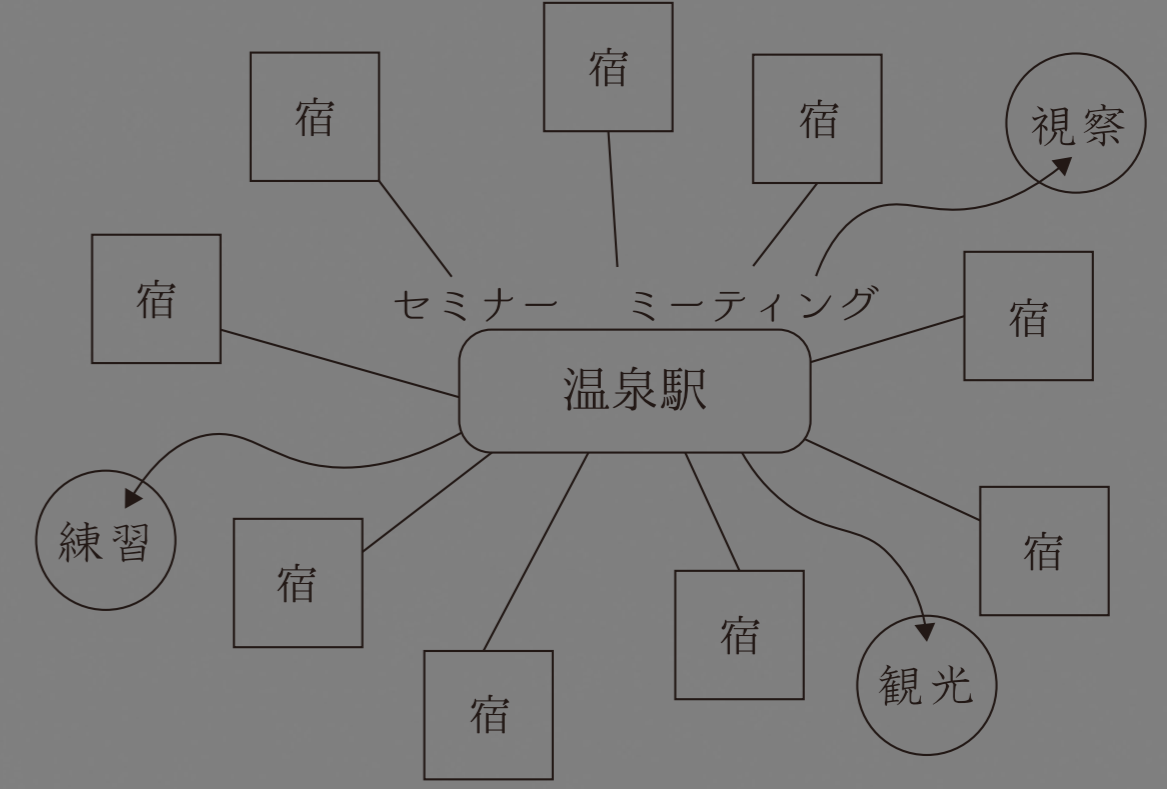
仕事の合間に温泉が利用できるといった都市にはないリラックスできる環境のなかにコワーキングスペースを設置する。wi-fi、コピー機などデスクワークに必要な機能を完備。温泉という資源の、観光以外の活用方法として、地元からだけでなく、関東の都市部からの一時利用者を呼び込み、新たなニーズを開拓する。

伊豆の国ダイガク

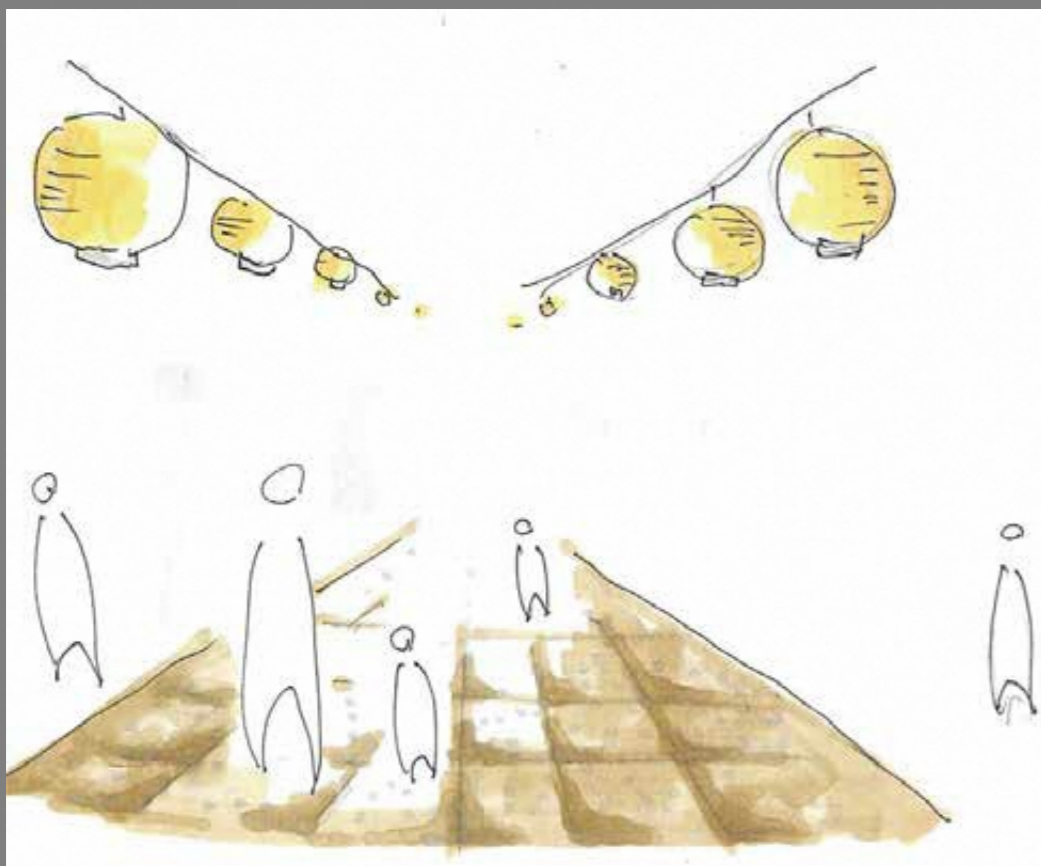


関東近郊の大学・学術機関が連携して出資、利用する『シェア型』合同研修・合宿センター。来訪者は、各旅館や空き施設を活用し、温泉街に分散して宿泊する。

拠点となる温泉駅には、レセプション及び共用施設(パーティーホール、交流ラウンジ、ミーティングルーム等)を設置する。レセプションには合宿中に必要な情報提供や、視察先等のプランを組んでくれるコンシェルジュを配置する。

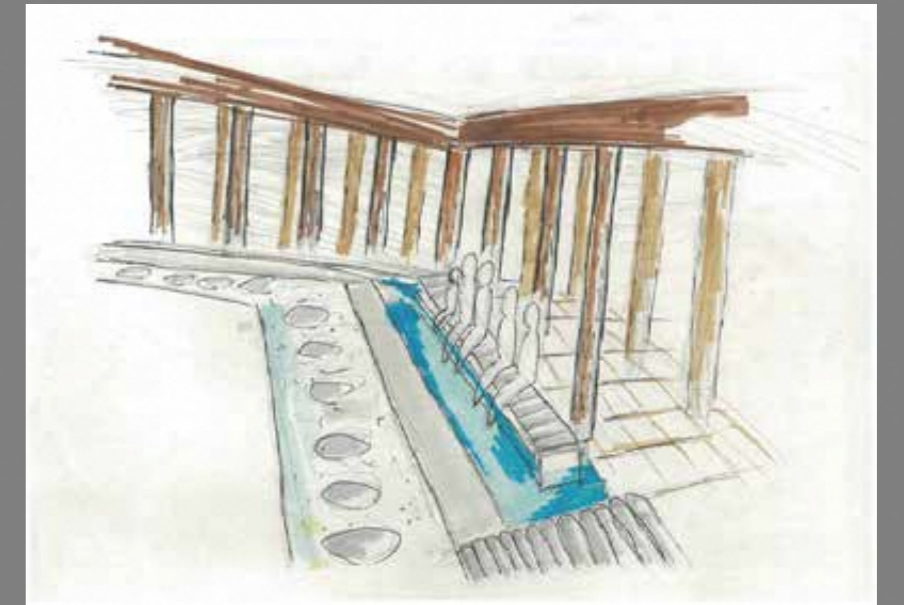


歩行者天国化・石畳敷設



温泉街を通過するバス路線を迂回させ、自家用車の通行も規制(駐車場を一か所に集約)し、温泉街を歩行者天国にする。同時に舗装をアスファルトから石畳にし、提灯と併せて温泉街の景観を作り出す。

足湯・マルシェ



歩行者天国化に伴う駐車場集中化によって不要となる、各旅館の宿泊客用駐車場を足湯やマルシェを開催できる広場として整備する。温泉街にふらっと立ち寄り、賑わいが増える場所が増える。

ゲストハウス



主にインバウンドやサイクリスト向けのドミトリー型ゲストハウス。個人利用に対応した宿泊施設で、ダイガク需要の多寡を問わず安定した利用客を狙う。伊豆の国ダイガクとの連携時には分棟配置を活かして、団体客を受け入れることも可能とする。

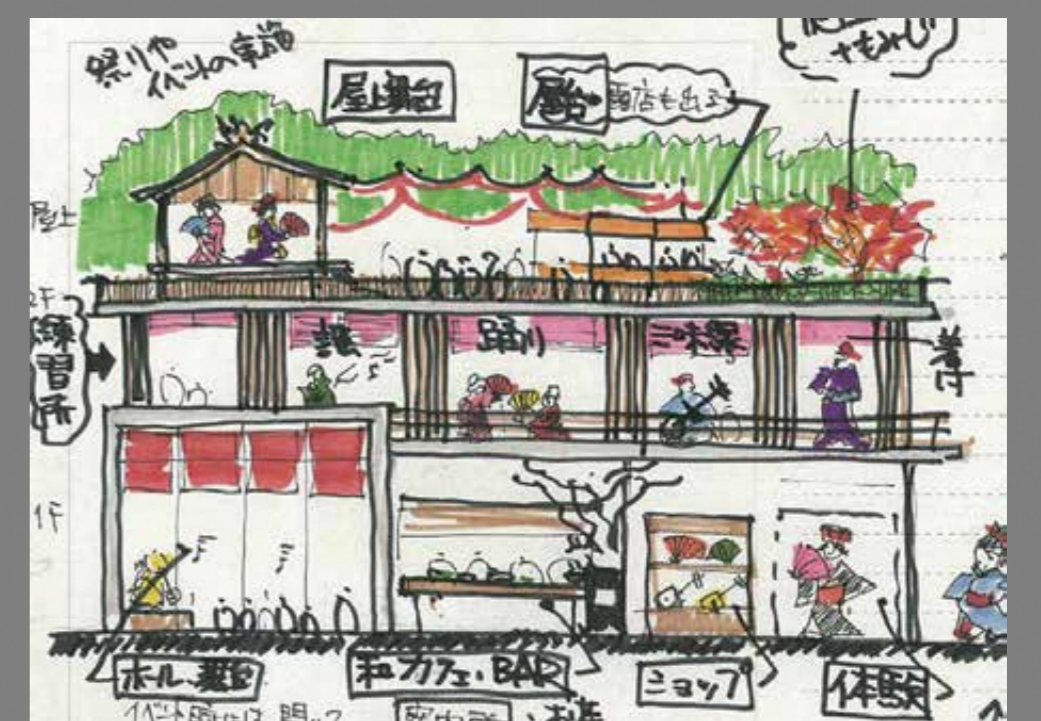
モビリティセンター



セグウェイ、チョイモビ、ゴルフカート、四輪電動カー(ラクーター)、シェアサイクルなどの小さな移動手段を集め、バスから乗り換え気軽に選択して利用できるセンターを、温泉駅に設置する。

温泉街や裏道をモビリティに準拠した道に整備し、キャンパスの各施設や、順天堂大学病院などを繋ぐネットワークを形成する。

新芸妓学校



芸妓の持つ技術(三味線、踊り、民謡、鳴り物など)を学んだり体験したりすることのできる『芸妓学校』を新しく再生する。本格コース(プロコース)と体験コース(観光客やインバウンド向け)のコースを用意して、宿泊しながら研修も受けられる。着付けで町に繰り出すこともできる。